

盆栽とは

盆栽という言葉は二文字の漢字で成り立っています。一つ目の漢字である「盆」は「おぼん」や「お皿」を意味し、二つ目の漢字である「栽」は「木」を意味します。つまり、これら二つを合わせると「浅い鉢に植えられた木」という意味になります。しかし、これでは日本で盆栽という言葉が文化的、精神的な意味がきちんと伝わらないでしょう。

日本語の「盆栽」という言葉はそれほど古くなく、できたのは実は 200 年ほど前のことです。しかし、古代の巻物や絵画を見ると、このような美術の形式が 1300 年ほど前の中国の園芸文化に由来していて、それが鎌倉時代（1185～1333 年）の日本に禅仏教と共に入ってきたことがわかります。当時は「盆山」と呼ばれていましたが、この「山」というのはミニチュアの木と一緒に使われていた山の形の石のことです。これら二つを組み合わせてジオラマのようなジオラマ風景を作り出し、自然界とその存在意義について想いを巡らせていたのです。

今日の盆栽の目的も、当時と変わっていません。すなわち、慎重な栽培を通して、自然を持ち歩けるほど小さな形に落とし込み、生きた自然の植物の状態を維持しながら、繊細な美を表現するのが盆栽なのです。

初心者の方は盆栽と聞くと、上に伸びた樹形の決まったイメージの木が思い浮かぶかもしれませんが、実は盆栽にはさまざまな種類の木を使うことができます。つまり、盆栽とは何世紀もかけて磨き上げられてきた技術で木を極小のサイズとスケールに保ちながら、ありのままの美を表現する技巧そのもののなのです。